

株主の皆様へ

第67期第2四半期のご報告

平成27年4月1日から平成27年9月30日まで

おしゃれのとなりに
株式会社フジックス

証券コード：3600

平成27年12月
代表取締役社長
森井一郎

第2四半期の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和政策の継続などを背景に引き続き堅調を維持しておりますが、中国経済の減速による世界経済の下振れリスクが懸念されるなど、先行きの不透明感が強まりつつあります。

ファッショニアパレル業界におきましても、一部に訪日外国人や高所得者による消費の下支えも見られますが、全般には消費者の節約志向も強く、国内の衣料品の売れ行きは総じて低調で、これに伴い日本向け衣料品の生産は抑制傾向が続き、縫製を請け負う国や地域にバラつきはあるものの、全体として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,541百万円（前年同期比5.6%増）と、前年同期を上回る結果となりましたが、これは、主に前年同期には消費税増税後の駆け込み受注の反動があったことや、今夏に実施しました工業用縫い糸の販売価格改定に伴う前倒し受注によるものです。

一方利益面は、原材料、染料価格等の高止まりや国内工場操業度の低下、海外賃金の上昇傾向、中国事業での減収など、減益要因もあるものの、国内売上高の増加や当社の販管費の削減効果等もあって、営業利益は44百万円（前年同期は15百万円の損失）、経常利益は55百万円（前年同期比419.1%増）となりました。

なお、前年同期には中国子会社の移転に伴う受取補償金を特別利益に計上しましたが、当第2四半期連結累計期間にはその計上がないこともあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は40百万円（前年同期比67.1%減）となりました。

セグメント別の概況

日本

当期間における国内個人消費は、引き続き株高や賃金上昇を背景とした高所得者の消費は堅調で、増加する訪日外国人による消費も含めて、一部にプラス要因も見られますが、全般には輸入品や食料品、日用品の物価上昇傾向により、節約志向が強まる傾向にあり、国内消費にはばらつきが見られます。これらから国内での衣料品の売れ行きは、全体としては低調で、その生産も抑制傾向が続いている

るほか、趣味の分野である手芸関連の消費も低調で、縫い糸の国内市況は回復傾向が見られません。

当社グループにおきましては、事業年度の末日を、当社は3月末日、国内子会社は1月末日と定めており、当第2四半期連結累計期間には、当社の平成27年4月から9月まで、国内子会社は平成27年2月から7月までの業績が連結されているため、前述の経済情勢や市況の影響は、各社ごとに若干相違があるものの、国内収益回復のための各社の諸策は徐々に成果も出始めております。

また、前年同期には消費税増税後の駆け込み受注の反動があったことや、今夏に実施しました工業用縫い糸の販売価格改定に伴う前倒し受注もあって、当セグメントの売上高は2,774百万円（前年同期比6.7%増）と前年同期を上回る結果となりました。

一方利益面につきましては、原材料、染料価格等の高止まりや国内工場操業度の低下等が引き続き製造コストを圧迫しておりますが、売上高の増加と販管費の削減等により、当セグメントの営業利益は12百万円（前年同期は40百万円の損失）となりました。

アジア

当セグメントに属する全ての海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当第2四半期連結累計期間には、平成27年1月から6月までの業績が連結されております。

当期間における日本向け衣料品の生産は、引き続き慎重で抑制傾向が続いている上に、特に中国においては、人件費の上昇や円安傾向の継続、一国集中リスクの回避などから、東南アジア諸国への分散傾向に歯止めがかからず、同国の縫製業は受注の減少や競争の激化で淘汰が進んでおります。

当社グループにおきましても、これらの状況を受けて、タイおよびベトナムの子会社では販売も増加傾向にあります。当セグメントにおいて最も販売比率が高い中国においては、縫い糸受注の減少に加え、販売競争の激化で一段と厳しさが増しております。

しかしながら前年同期と比較して為替レートが対元との関係で円安傾向に推移したこともあり、当セグメントの売上高は767百万円（前年同期比1.9%増）となりました。一方利益面につきましては、中国子会社の売上高の減少に加えて、原材料価格の高止まりや海外賃金の上昇傾向に加え、先行経費負担等のマイナス要因が大きく、当セグメントの営業利益は2百万円（前年同期比89.9%減）となりました。

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

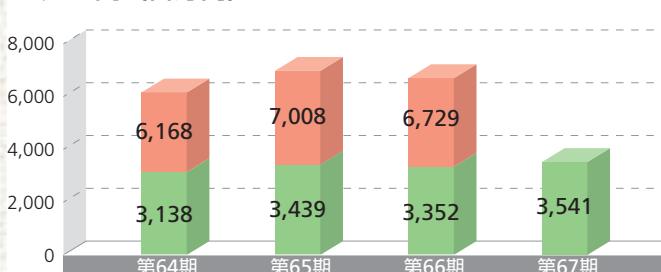
科目	前期	当第2四半期	増減
資産の部			
流動資産	7,414	7,390	△23
固定資産	4,150	4,322	172
有形固定資産	2,319	2,565	246
無形固定資産	299	318	19
投資その他の資産	1,530	1,438	△92
資産合計	11,564	11,713	149
負債の部			
流動負債	1,096	1,214	118
固定負債	887	924	37
負債合計	1,983	2,139	155
純資産の部			
株主資本	7,781	7,721	△59
その他の包括利益累計額	971	1,010	39
非支配株主持分	827	842	14
純資産合計	9,580	9,574	△6
負債・純資産合計	11,564	11,713	149

● 貸借対照表のポイント

- ・有形固定資産の主な増加要因は、中国子会社の資産が増加したことによるものです。
- ・流動負債の主な増加要因は、買掛金が増加したことによるものです。

注 国内連結子会社は平成27年2月から7月(1月決算)、海外連結子会社は平成27年1月から6月(12月決算)までの業績が連結されております。

■ 売上高 (百万円)



■ 純利益 (百万円)



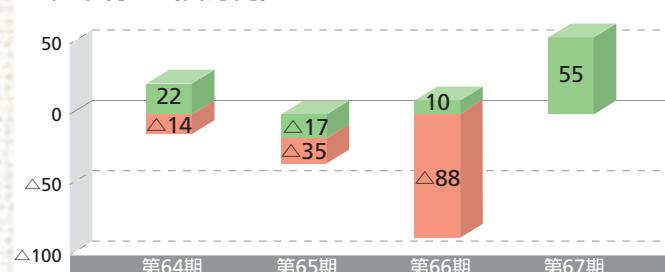
四半期連結損益計算書

科目	前第2四半期	当第2四半期	増減
売上高	3,352	3,541	189
売上原価	2,401	2,593	192
売上総利益	951	948	△3
販売費及び一般管理費	966	903	△63
営業利益 (△は損失)	△15	44	59
営業外収益	37	39	2
営業外費用	11	28	17
経常利益	10	55	44
特別利益	260	—	△260
特別損失	0	0	△0
税金等調整前四半期純利益	270	55	△215
法人税・住民税及び事業税	18	17	△1
過年度法人税等戻入額	△39	—	39
法人税等調整額	87	△5	△93
四半期純利益	203	43	△159
非支配株主に帰属する四半期純利益	79	3	△76
親会社株主に帰属する四半期純利益	124	40	△83

● 損益計算書のポイント

- 原材料価格の高止まりや海外賃金の上昇傾向はあるものの、工業用縫い糸の販売価格改定に伴う前倒し受注もあり利益面も改善しています。一方で前年同期には、中国子会社の受取補償金を特別利益に計上したことなどもあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は減益となりました。

■ 経常利益 (百万円)



■ 一株あたり純利益 (円)



TOPICS

2015年8月

▶ 上海キルトショップで指導員養成講座開講

2015年8月より、当社子会社の上海富士克制線有限公司が運営するキルトショップ「喜楽多拼布」が北京宝庫国際文化発展有限公司との共同開催により、中国で初めて公益財団法人日本手芸普及協会のパッチワークキルト指導員養成講座をスタートしました。12月には中国においてパッチワークキルトの指導員資格を持った新たな講師が誕生する予定です。



2015年10月

▶ FISMA TOKYO（東京ファッショントラジエーション産業機器展）出展

東京ビッグサイトで開催される日本最大のアパレル産業関連用品の展示会で、今回で53回目です。当社のブースでは、ストレッチ素材対応ミシン糸や、ダウンジャケットの羽毛吹き出し防止対策ミシン糸などの高機能ミシン糸の提案をいたしました。



2015年10月

▶ インターナショナルキルトマーケットヒューストン2015

アメリカ ヒューストンで毎秋開催される『インターナショナルキルトマーケットヒューストン2015』が、10月24日から26日まで開催されました。同展示会は、パッチワークキルトの分野では世界で最も歴史のある展示会として1974年から開催され、毎年世界各国多くの来場者をを迎えます。当社の取引先2社も出展し、当社のキルト関連商材のPRを行いました。当社製品の愛好家は、米国をはじめ世界中に広がっています。

ホームページのご案内

会社情報や製品情報など、当社について幅広く掲載しています。また、手づくりファンのための情報サイト「そーいんぐ.com」では、手づくりレシピや手づくりコンテスト、ぬい糸選びチャートなど様々なコンテンツをご用意しております。

<http://www.fjx.co.jp>



会社の概要 (平成27年9月30日現在)

事業内容

家庭用縫い糸及び工業用縫い糸・刺しゅう糸並びに各種糸の製造、販売を主たる事業としております。また、これらの原材料及び半製品の販売並びに手芸関連商品及び縫製副資材等の販売も行っております。

創業 大正10年（1921年）3月

設立 昭和25年（1950年）1月

資本金 923,325,000円

従業員数 135名*パート23名を含む（連結 438名）

事業所

本 社	管理部 営業本部	京都市北区
東京支店	営業部	東京都台東区
滋賀事業所	生産部 物流部門 研究開発室	滋賀県東近江市
東北物流センター	物流部門	秋田県横手市

役員 (平成27年9月30日現在)

代表取締役	藤井 一郎	取締役社長兼生産本部長
常務取締役	松岡 繁生	営業本部長 アジア総代表
取締役	山本 和良	管理部長
取締役	森川 昌治	営業本部長代行 国内営業統括
社外取締役	山田 善紀	公認会計士
常勤監査役	枚山 広幸	
社外監査役	中野 雄介	公認会計士
社外監査役	吉田 薫	弁護士

グループ会社

国内グループ会社

株式会社FTC	京都市北区
株式会社シオン	秋田県横手市
株式会社ニットマテリアル	山梨県甲府市

海外グループ会社

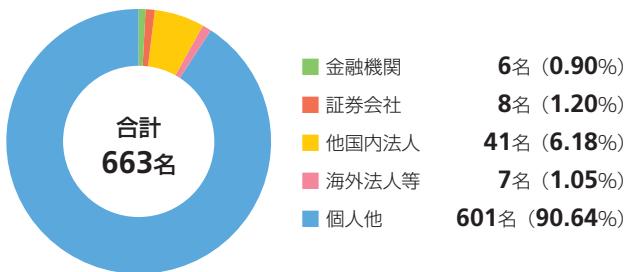
上海富士克制線有限公司	中国・上海市
上海新富士克制線有限公司	中国・上海市
上海富士克貿易有限公司	中国・上海市
富士克國際（香港）有限公司	中国・香港
上海福拓線貿易有限公司	中国・上海市
FUJIX INTERNATIONAL Co.,Ltd.	タイ・バンコク
FUJIX VIETNAM Co.,Ltd.	ベトナム・ホーチミン

株式の状況 (平成27年9月30日現在)

発行可能株式総数	19,945,000株	
発行済株式の総数	7,340,465株	
株主数	663名	
大株主		
	保有株式数（千株）	
	比率（%）	
(株)FJ興産	793	11.51
藤井多鶴子	577	8.37
小原京子	410	5.95
森本町子	342	4.96
鈴木直子	342	4.96
藤井一郎	220	3.19
藤井太郎	214	3.10
(株)三井住友銀行	184	2.68
フジックス社員持株会	178	2.58
藤井眞津子	172	2.49

自己株式453千株は控除しております。

株主分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

基準日 定時株主総会・期末配当金：3月31日

中間配当を行うとき：9月30日

定時株主総会 毎年6月

単元株式数 1,000株

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

大阪市中央区北浜四丁目5番33号

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 0120-782-031

公告方法 電子公告としております。（<http://www.fjx.co.jp>）

株主様の住所変更等お届け及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願い致します。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

